

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 知性…6年間の一貫した教育活動を展開し、高い知性と豊かな教養を身につけさせる。
- 創造…高い志を持ち、人間性豊かな創造性あふれる人材を育成する。
- 活力…豊かな感性・表現力を備え、国際社会に貢献できる活力ある人間を育成する。

＜本年度の学力向上策＞

＜研究主題＞

自ら課題を見つけ主体的に学習する生徒の育成

＜研究主題設定理由＞

本校は、平成28年度に開校10周年を迎えた、併設型中高一貫教育校である。開校当初と比べて、生徒の学習意欲や学力、保護者の本校への期待も変化してきている。10年の区切りとして、これまでの教育課程を見直し、社会の要請に応じた教育課程の編成と実施を喫緊の課題として受け止めている。本校の生徒は、適性検査を経て入学していることもあり、基礎学力の高い生徒が多い。しかしながら一方では、与えられた課題に取り組むことに慣れており、受け身の姿勢で学習する傾向が強く見受けられる。これからの社会でたくましく生きていくためには、自ら課題を見つけ主体的に学習し課題を解決していく力が求められる。こうした現状を踏まえ、本研究主題を設定した。

＜研究の方策＞

- 中高6年間のより円滑な接続を見通した教育課程の編成と実施
 - ・次世代シラバスの作成
 - ・進路指導、キャリア教育の年間指導計画の見直し
 - ・総合的な学習の時間の年間指導計画の見直し
 - ・個に応じた学習サポート体制の充実
 - ・外部指導者の積極的な活用
- 主体的、対話的で深い学びを重視した授業の実践
 - ・学習形態と題材の工夫
 - ・ICTの効果的な活用の工夫
 - ・生徒の学習意欲を高め、よさを伸ばす評価の工夫

＜成果の検証方法＞

- 全国学力学習状況調査（B問題）、さいたま市学習状況調査（チャレンジ問題）
- よい授業のアンケート

＜本年度の振り返り＞

異学年学習の時間や探究数学の時間の内容を見直して、生徒の視点での学び合いや、生徒自らが解法を見つける話合いの機会を増やしたことで、探究的な学習に主体的になってきた。また、総合的な学習の時間の年間指導計画を見直しや指導観の共有によって、自ら課題を見つけて解決していくスキルを、教師が整理して活用させることでさらに生徒の主体性が増した。それは、全国学習状況調査における「課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問項目について、昨年度より13ポイント伸びたことにも表れている。まだ受け身傾向の生徒がいることを忘れずに、指導を継続して主体性を伸ばしていきたい。